

令和7年度長期優良住宅化リフォーム推進事業

現況検査チェックシート
(鉄筋コンクリート造・共同住宅)

基本情報

検査対象住宅	共同住宅名又は住宅所有者名	〇〇〇マンション							
	所在地	〇〇県〇〇市〇〇区 ●-△-〇〇							
	調査対象住棟	1号棟	調査対象住戸番号	101,203,506					
検査依頼主	管理組合等・担当者								
現況検査立会者	会社名・担当者								
構造	☒ RC造	☐ SRC造	階数	地上	5 階、	地下	－ 階	長期修繕計画の有無	計画有
建築時期	S 62 年	延床面積	1,950 m ²						

検査事業者 名称 (建築士事務所名)	〇〇建築設計事務所									
検査者の氏名	〇〇 〇〇									
既存住宅状況調査技術者登録	実施講習機関名	〇〇〇〇協会		実施講習機関の登録番号	☐	修了証明書番号	〇-〇〇〇〇			
資格	(一級) 建築士	(	国土交通大臣		) 登録	第	□□□□	号		
建築士事務所	(一級) 建築士事務所	(	〇〇県		) 知事登録	第	□□□□□	号		
連絡先	TEL 〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇									
インスペクターについて	☐	やむを得ない理由により既存住宅状況調査技術者による実施ができない(既存住宅状況調査技術者欄の記入不要:下記に理由を記入) * 予め支援室の承認を得た建築士が実施する必要があります。								
	理由:									
現況検査日時	令和 7 年	4 月	〇〇 日	(天候 晴れ)						
		10	:	〇〇	~	18	:	〇〇		
検査の結果	劣化事象 (☒ 有り、 ☐ 無し)									

※該当のない場合は記入不要
複数の住棟について交付申請を行う場合は、住棟単位で現況検査チェックシートを作成してください。

本現況検査チェックシートを印刷する際は、白黒印刷で構いません。

* インспекションは、既存住宅状況調査技術者が実施するものを対象とします。
既存住宅状況調査技術者の登録には有効期限があります。登録の有効期限が切れた状態で行われたインспекションの調査結果は、本事業の要件を満たしませんので、補助対象とならない他、提出書類としても無効です。
必ず、既存住宅状況調査技術者登録が有効期間内である既存住宅状況調査技術者が実施した調査結果を提出してください。

(目次)

	頁	部位
A 共用部分★	第3面	【1】 外壁（構造） *1
	第4面	【1】 外壁（雨水） *1
	第5面	【2】 基礎 *1
	第5面	【3】 屋根・ルーフバルコニー *1
	第6面	【4】 床（構造） *2
	第7面	【5】 内壁（構造） *2
	第8面	【5】 内壁（雨水） *2
	第9面	【6】 天井及び軒裏（構造・雨水）
	第10面	【7】 階段（構造） *2
	第11面	【8】 柱・梁（構造）
	第12面	【9】 共用設備配管【給水・給湯管】 *2
	第12面	【9】 共用設備配管【排水管】 *2
B 専用部分☆	第13面	【10】 バルコニー（構造・雨水）
	第14面	【11】 柱・梁（構造）
	第15面	【12】 内壁（構造）
	第16面	【12】 内壁（雨水）
	第17面	【13】 天井（構造・雨水）
	第18面	【14】 床（構造）
	第19面	【15】 専用設備配管【給水・給湯管・排水管・換気ダクト】
シ ョ ン プ	第20面	オプション

※確認の程度の区分の凡例（第3面以降の確認欄の凡例）

- | | |
|------------------------------------|---------------|
| ① 「すべてまたはほとんどが確認できた」 | ・・・ 9割以上 |
| ② 「過半の部分が確認できた」 | ・・・ 5割以上 9割未満 |
| ③ 「1割以上確認できた」 | ・・・ 1割以上 5割未満 |
| ④ 「ほとんど確認できなかったが、工事中に1割以上の範囲を確認する」 | ・・・ 1割未満 |
- ②～④の場合には、確認できなかった部位とその理由を記載してください。

★：特定住戸を補助対象とする場合、対象住戸の近傍および共同玄関から対象住戸までの移動中に検査可能な範囲を対象とします。
共用設備配管については、対象住戸内およびPS内から検査可能な範囲を対象とします。

☆：共同住宅の共用部分を補助対象とする場合、10%以上の住戸数について専有部分の現況検査を行い、以下の通り集約して記載してください。

- ・ ひび割れ幅等、部位によって異なる場合は最大の幅を記載してください。
- ・ 部位・方位については劣化事象が見られた部位・方位を全て記載してください。
- ・ 原則として劣化事象が見られた住戸番号を記載する必要はありませんが、特に必要な場合は記載してください。

*1 特定住戸を補助対象とする場合、共同住宅全体を対象とした長期修繕計画が立案され、計画通りに修繕工事が実施されていれば、対象外とすることができます。
該当する場合は、表紙(基本情報)に長期修繕計画の有無欄を設けているので記入してください。
住棟単位の調査である場合は、長期修繕計画の有無にかかわらず屋根等の調査も必要です。

*2 鉄筋コンクリート造の戸建住宅の場合は検査不要です。

(対応欄の凡例)

- ：今回のリフォーム工事に補修すべき劣化事象
- ：同上（雨漏りの跡が確認された場合に、その対応箇所）
- ：維持保全計画に将来対応の記載が認められる劣化事象

(対応欄の凡例)

- : 今回のリフォーム工により補修すべき劣化事象
 ■ : 同上 (雨漏りの跡が確認された場合に、その対応する箇所)
 ○ : 維持保全計画に将来対応の記載が認められる劣化事象

住棟番号		1号棟		
部位等		【1】外壁（構造）		
劣化状況	A 共用部分	確認欄※	☐ ① ☒ ② ☐ ③ ☐ ④	
		対応	—	
		検査項目	仕上げの種類の確認	☒ ア コンクリート打放し又は塗装仕上げ（Ⅰに記入） ☐ イ タイル仕上げ（湿式工法）又は湿式塗壁仕上げ等（Ⅱに記入） ☐ ウ その他の仕上げの場合（Ⅲに記入）
		確認内容	I はモルタルを含まない仕上 II はモルタルを含む湿式仕上	
		現況検査できなかった箇所 (妻壁4～5階)	理由 (足場がないため)	I. コンクリート打放し又は塗装仕上げの場合 (1) 【構造】幅0.5mm以上のひび割れ ☐ ア ひび割れが確認されない ☒ イ ひび割れが確認される(下表に記入) a. ひび割れが確認された場所 (南面東端付近3階、4階、5階) b. 最大のひび割れ幅 (0.8) mm (2) 【構造】深さ20mm以上の欠損 ☒ ア 欠損が確認されない ☐ イ 欠損が確認される(下表に記入) a. 欠損が確認された場所 () b. 最大欠損の深さ () mm (3) 【構造】コンクリートの著しい劣化 ☒ ア 著しい劣化が確認されない ☐ イ 著しい劣化が確認される(下表に記入) a. 著しい劣化が確認された場所 () b. 広範囲に及ぶひび割れの有無 ☐ ア ない ☐ イ ある c. 広範囲に及ぶ欠損の有無 ☐ ア ない ☐ イ ある (4) 【構造】さび汁を伴うひび割れ又は欠損 ☒ ア さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認されない ☐ イ さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認される(下表に記入) a. さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認された場所 () (5) 【構造】鉄筋の露出 ☒ ア 鉄筋の露出が確認されない ☐ イ 鉄筋の露出が確認される(下表に記入) a. 鉄筋の露出が確認された場所 ()
		II. タイル仕上げ（湿式工法）又は塗壁仕上げ等の場合	(1) 【構造】下地材に至るひび割れ、欠損、浮き、はらみ又は剥落 ☐ ア 下地材に至るひび割れ、欠損、浮き、はらみ又は剥落が確認されない ☐ イ 上記の劣化事象等が確認される(下表に記入) a. ひび割れ等が確認された場所 () b. 最大のひび割れ幅又は最大欠損の深さ () mm (2) 【構造】複数のタイル等にまたがるひび割れ又は欠損 ☐ ア 複数のタイル等にまたがるひび割れ又は欠損が確認されない ☐ イ 上記の劣化事象等が確認される(下表に記入) a. ひび割れ等が確認された場所 () b. 最大のひび割れ幅又は最大欠損の深さ () mm	
		III. その他の仕上げの場合	(1) 【構造】仕上げ材の著しい割れ ☐ ア 著しい割れが確認されない ☐ イ 著しい割れが確認される(下表に記入) a. 著しい割れが確認された場所 () (2) 【構造】著しい欠損 ☐ ア 著しい欠損が確認されない ☐ イ 著しい欠損が確認される(下表に記入) a. 著しい欠損が確認された場所 () b. 最大欠損の深さ () mm (3) 【構造】仕上げ材の著しい剥がれ ☐ ア 著しい剥がれが確認されない ☐ イ 著しい剥がれが確認される(下表に記入) a. 著しい剥がれが確認された場所 () (4) 【構造】著しいひび割れ ☐ ア 著しいひび割れが確認されない ☐ イ 著しいひび割れが確認される(下表に記入) a. 著しいひび割れが確認された場所 ()	
		☐ イに該当する劣化事象ではないが、軽微なものは確認された。		
		劣化の内容		
		備考		

(対応欄の凡例) ●: 今回のリフォーム工により補修すべき劣化事象
 ■: 同上 (雨漏りの跡が確認された場合に、その対応する箇所)
 ○: 維持保全計画に将来対応の記載が認められる劣化事象

住棟番号		1号棟	
部位等		【1】外壁(雨水)	
劣化状況	A 共用部分	確認欄※	対応
		☐ ① ☒ ② ☐ ③ ☐ ④ 現況検査できなかった箇所 (妻壁 4～5 階) 理由 (足場がないため)	(1) 【雨水】シーリング材や防水層の破断、欠損 (2) 【雨水】屋外に面する建具や建具廻りの隙間や破損、開閉不良 (3) 【雨水】建具廻りのシーリング材の破断
		☐ ア シーリング材や防水層の破断、欠損が確認されない ☒ イ シーリング材や防水層の破断、欠損が確認される(下表に記入) a. シーリング材や防水層の破断、欠損が確認された場所 (506号室南側外壁の打継目地にシーリング亀裂)	☒ ア 建具や建具廻りの隙間や破損、開閉不良が確認されない ☐ イ 建具や建具廻りの隙間や破損、開閉不良が確認される(下表に記入) a. 建具や建具廻りの隙間や破損、開閉不良が確認された場所 ()
		☐ ア 建具廻りのシーリング材の破断が確認されない ☒ イ 建具廻りのシーリング材の破断が確認される(下表に記入) a. 建具廻りのシーリング材の破断が確認された場所 (1 階西側壁の開口部廻りシーリング亀裂)	
		☐ イに該当する劣化事象ではないが、軽微なものは確認された。 劣化の内容	
備考		外壁にある雨樋について、劣化事象が見られるときは、ここに記入してください。	

(対応欄の凡例)

- ：今回のリフォーム工事により補修すべき劣化事象
 ■：同上（雨漏りの跡が確認された場合に、その対応する箇所）
 ○：維持保全計画に将来対応の記載が認められる劣化事象

住棟番号	1号棟					
部位等	【2】基礎					
劣化状況	A 共用部分	確認欄※	対応	検査項目	確認内容	
		☒ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④	○	(1) 【構造】幅0.5mm以上のひび割れ	☒ ア ひび割れが確認されない ☐ イ ひび割れが確認される（下表に記入） a. ひび割れが確認された場所 () b. 最大のひび割れ幅 () mm	
		現況検査できなかった箇所 () 理由 ()	○	(2) 【構造】深さ20mm以上の欠損	☒ ア 欠損が確認されない ☐ イ 欠損が確認される（下表に記入） a. 欠損が確認された場所 () b. 最大欠損の深さ () mm	
			●	(3) 【構造】コンクリートの著しい劣化	☒ ア 著しい劣化が確認されない ☐ イ 著しい劣化が確認される（下表に記入） a. 著しい劣化が確認された場所 () b. 広範囲に及ぶひび割れの有無 ☐ ア ない ☐ イ ある c. 広範囲に及ぶ欠損の有無 ☐ ア ない ☐ イ ある	
			●	(4) 【構造】さび汁を伴うひび割れ又は欠損	☒ ア さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認されない ☐ イ さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認される（下表に記入） a. さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認された場所 ()	
			●	(5) 【構造】鉄筋の露出	☒ ア 鉄筋の露出が確認されない ☐ イ 鉄筋の露出が確認される（下表に記入） a. 鉄筋の露出が確認された場所 ()	
		☐ イに該当する劣化事象ではないが、軽微なものは確認された。 劣化の内容 ()				
		【3】屋根・ルーフバルコニー（雨水）				
		確認欄※	対応	検査項目	確認内容	
		☒ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④	○	(1) 【雨水】防水層の著しい劣化又は水切り金物等の不具合	☒ ア 防水層の著しい劣化又は水切り金物等の不具合が確認されない ☐ イ 防水層の著しい劣化又は水切り金物等の不具合が確認される（下表に記入） a. 防水層の著しい劣化又は水切り金物等の不具合が確認された場所 ()	
現況検査できなかった箇所 () 理由 ()	☒ イに該当する劣化事象ではないが、軽微なものは確認された。 劣化の内容 ()					
	東端住戸（506号）直上のパラペット立上り部にひび割れあり、要補修					
備考	屋根、ルーフバルコニーにあるドレイン、雨水管について、劣化事象が見られるときは、ここに記入してください。					

*基礎内部(床下)は、床下にピット等の空間がある場合、ピット出入り口、床下点検口等から点検を行う。

(対応欄の凡例) ●: 今回のリフォーム工事で補修すべき劣化事象
■: 同上 (雨漏りの跡が確認された場合に、その対応する箇所)
○: 維持保全計画に将来対応の記載が認められる劣化事象

住棟番号		1号棟			
部位等		【4】床（構造）★			
		確認欄※	対応	検査項目	確認内容
		■ ① □ ② □ ③ □ ④ 現況検査できなかった箇所 () 理由 ()		(1) 著しいひび割れ、劣化又は欠損（さび汁、白華又は鉄筋の露出を含む）	■ ア □ イ ひび割れ、劣化又は欠損が確認されない ひび割れ、劣化又は欠損が確認される（下表に記入） a. ひび割れ、劣化又は欠損が確認された場所 ()
		□ イに該当する劣化事象ではないが、軽微なものは確認された。 劣化の内容			
備考					

(対応欄の凡例) ●：今回のリフォーム工事ににより補修すべき劣化事象
 ■：同上（雨漏りの跡が確認された場合に、その対応する箇所）
 ○：維持保全計画に将来対応の記載が認められる劣化事象

住棟番号	1号棟					
部位等	【5】内壁（構造）★					
劣化状況	A 共用部分	確認欄※	対応	検査項目	確認内容	
		☒ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ 現況検査できなかった箇所 （ ） 理由 （ ） ※仕上げの種類で「イ その他仕上げ等」を選択した場合は、仕上げの種類を記入の上で、躯体の状況が確認できなかった理由を記入する	—	仕上げの確認	☒ ア コンクリート打放し又は塗装仕上げ（Ⅰに記入） ☐ イ その他の仕上げの場合（Ⅱに記入）	
			Ⅰ. コンクリート打放し又は塗装仕上げの場合			
			○	(1) 【構造】幅0.5mm以上のひび割れ	☒ ア ひび割れが確認されない ☐ イ ひび割れが確認される（下表に記入） a. ひび割れが確認された場所 （ ） b. 最大のひび割れ幅 （ ）mm	
			○	(2) 【構造】深さ20mm以上の欠損	☒ ア 欠損が確認されない ☐ イ 欠損が確認される（下表に記入） a. 欠損が確認された場所 （ ） b. 最大欠損の深さ （ ）mm	
			●	(3) 【構造】コンクリートの著しい劣化	☒ ア 著しい劣化が確認されない ☐ イ 著しい劣化が確認される（下表に記入） a. 著しい劣化が確認された場所 （ ） b. 広範囲に及ぶひび割れの有無 ☐ ア ない ☐ イ ある c. 広範囲に及ぶ欠損の有無 ☐ ア ない ☐ イ ある	
			●	(4) 【構造】さび汁を伴うひび割れ又は欠損	☒ ア さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認されない ☐ イ さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認される（下表に記入） a. さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認された場所 （ ）	
			●	(5) 【構造】鉄筋の露出	☒ ア 鉄筋の露出が確認されない ☐ イ 鉄筋の露出が確認される（下表に記入） a. 鉄筋の露出が確認された場所 （ ）	
			Ⅱ. その他の仕上げの場合			
			○	(1) 【構造】仕上げ材の著しい割れ	☐ ア 著しい割れが確認されない ☐ イ 著しい割れが確認される（下表に記入） a. 著しい割れが確認された場所 （ ）	
			○	(2) 【構造】著しい欠損	☐ ア 著しい欠損が確認されない ☐ イ 著しい欠損が確認される（下表に記入） a. 著しい欠損が確認された場所 （ ） b. 最大欠損の深さ （ ）mm	
			○	(3) 【構造】仕上げ材の著しい剥がれ	☐ ア 著しい剥がれが確認されない ☐ イ 著しい剥がれが確認される（下表に記入） a. 著しい剥がれが確認された場所 （ ）	
			○	(4) 【構造】著しいひび割れ	☐ ア 著しいひび割れが確認されない ☐ イ 著しいひび割れが確認される（下表に記入） a. 著しいひび割れが確認された場所 （ ）	
			☐ イに該当する劣化事象ではないが、軽微なものは確認された。 劣化の内容			
			備考			

(対応欄の凡例) ●：今回のリフォーム工事により補修すべき劣化事象
 ■：同上（雨漏りの跡が確認された場合に、その対応する箇所）
 ○：維持保全計画に将来対応の記載が認められる劣化事象

住棟番号		1号棟	
部位等		【5】内壁（雨水）★	
劣化状況	A 共用部分	確認欄※	対応
		☒ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ 現況検査できなかった箇所 () 理由 ()	●
		検査項目	確認内容
		(1) 【雨水】内壁の雨漏りの跡	☒ ア 内壁の雨漏りの跡が確認されない ☐ イ 内壁の雨漏りの跡が確認される（下表に記入） a. 内壁の雨漏りの跡が確認された場所 ()
		☐ イに該当する劣化事象ではないが、軽微なものは確認された。 劣化の内容	
備考			

(対応欄の凡例) ●：今回のリフォーム工事で補修すべき劣化事象
■：同上（雨漏りの跡が確認された場合に、その対応する箇所）
○：維持保全計画に将来対応の記載が認められる劣化事象

住棟番号		1号棟			
部位等		【6】天井及び軒裏（構造）			
劣化状況	A 共用部分	確認欄※	対応	検査項目	確認内容
		■ ① □ ② □ ③ □ ④ 現況検査できなかった箇所 () 理由 ()	—	仕上げの種類の確認	■ ア コンクリート打放し又は塗装仕上げ（Ⅰに記入） □ イ その他の仕上げの場合（Ⅱに記入）
		Ⅰ. コンクリート打放し又は塗装仕上げの場合			
		○	(1) 【構造】幅0.5mm以上のひび割れ	■ ア ひび割れが確認されない □ イ ひび割れが確認される（下表に記入） a. ひび割れが確認された場所 () b. 最大のひび割れ幅 () mm	
		○	(2) 【構造】深さ20mm以上の欠損	■ ア 欠損が確認されない □ イ 欠損が確認される（下表に記入） a. 欠損が確認された場所 () b. 最大欠損の深さ () mm	
		Ⅱ. その他の仕上げの場合			
		○	(1) 【構造】仕上げ材の著しい割れ	□ ア 著しい割れが確認されない □ イ 著しい割れが確認される（下表に記入） a. 著しい割れが確認された場所 ()	
		○	(2) 【構造】著しい欠損	□ ア 著しい欠損が確認されない □ イ 著しい欠損が確認される（下表に記入） a. 著しい欠損が確認された場所 () b. 最大欠損の深さ () mm	
		○	(3) 【構造】仕上げ材の著しい剥がれ	□ ア 著しい剥がれが確認されない □ イ 著しい剥がれが確認される（下表に記入） a. 著しい剥がれが確認された場所 ()	
		○	(4) 【構造】著しいひび割れ	□ ア 著しいひび割れが確認されない □ イ 著しいひび割れが確認される（下表に記入） a. 著しいひび割れが確認された場所 ()	
		【6】天井及び軒裏（雨水）			
		確認欄※	対応	検査項目	確認内容
		■ ① □ ② □ ③ □ ④ 現況検査できなかった箇所 () 理由 ()	●	(1) 【雨水】漏水の跡	■ ア 漏水の跡が確認されない □ イ 漏水の跡が確認される（下表に記入） a. 漏水の跡が確認された場所 ()
		□ イに該当する劣化事象ではないが、軽微なものは確認された。			
		劣化の内容			
備考					

(対応欄の凡例) ●：今回のリフォーム工事により補修すべき劣化事象
 ■：同上（雨漏りの跡が確認された場合に、その対応する箇所）
 ○：維持保全計画に将来対応の記載が認められる劣化事象

住棟番号		1号棟				
部位等		【7】階段（構造）★				
劣化状況	A 共用部分	確認欄※	対応	検査項目	確認内容	
		☒ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④	—	構造の種類の確認	☒ ア 鉄筋コンクリート造その他これに類する構造（Iに記入）	
			I. 鉄筋コンクリート造その他これに類する構造の場合			
			○	(1) 【構造】構造体の著しいひび割れ	☒ ア ひび割れが確認されない ☐ イ ひび割れが確認される（下表に記入）	
					a. ひび割れが確認された場所 ()	
					b. 最大のひび割れ幅 () mm	
		○	(2) 【構造】構造体の著しい欠損	☒ ア 欠損が確認されない ☐ イ 欠損が確認される（下表に記入）		
				a. 欠損が確認された場所 ()		
				b. 最大欠損の深さ () mm		
		○	(3) 【構造】踏み面の著しい欠損	☒ ア 欠損が確認されない ☐ イ 欠損が確認される（下表に記入）		
	a. 欠損が確認された場所 ()					
○	(4) 【構造】手すり又はこれを支持する部分の著しい腐食等	☒ ア 手すり又はこれを支持する部分の著しい腐食等が確認されない ☐ イ 手すり又はこれを支持する部分の著しい腐食等が確認される（下表に記入）				
		a. 手すり又はこれを支持する部分の著しい腐食等が確認された場所 ()				
☐ イに該当する劣化事象ではないが、軽微なものは確認された。						
劣化の内容						
備考						

(対応欄の凡例) ●：今回のリフォーム工事により補修すべき劣化事象
 ■：同上（雨漏りの跡が確認された場合に、その対応する箇所）
 ○：維持保全計画に将来対応の記載が認められる劣化事象

住棟番号		1号棟	
部位等		【8】柱・梁（構造）★	
劣化状況	A 共用部分	確認欄※	☒ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④
		対応	●
		検査項目	(1) 【構造】著しいひび割れ、劣化又は欠損（さび汁、エフロレッセンス又は鉄筋の露出を含む。）
		確認内容	☒ ア ひび割れが確認されない ☐ イ ひび割れが確認される（下表に記入） a. ひび割れが確認された場所 （ ） b. 最大のひび割れ幅 （ ）mm ☒ ア 欠損が確認されない ☐ イ 欠損が確認される（下表に記入） a. 欠損が確認された場所 （ ） b. 最大欠損の深さ （ ）mm ☒ ア 著しい劣化が確認されない ☐ イ 著しい劣化が確認される（下表に記入） a. 著しい劣化が確認された場所 （ ） b. 広範囲に及ぶひび割れの有無 ☐ ア ない ☐ イ ある c. 広範囲に及ぶ欠損の有無 ☐ ア ない ☐ イ ある ☒ ア さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認されない ☐ イ さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認される（下表に記入） a. さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認された場所 （ ） ☒ ア 鉄筋の露出が確認されない ☐ イ 鉄筋の露出が確認される（下表に記入） a. 鉄筋の露出が確認された場所 （ ）
理由	(2) 【構造】柱の著しい傾斜 		
対応	●		
確認内容	☒ ア 柱の著しい傾斜が確認されない ☐ イ 柱の著しい傾斜が確認される（下表に記入） a. 最も傾きがある場所 （ ） b. 当該部分の傾斜 （ / 1000）		
		☐ イに該当する劣化事象ではないが、軽微なものは確認された。 劣化の内容	
備考			

(対応欄の凡例)

- ：今回のリフォーム工により補修すべき劣化事象
 ■：同上（雨漏りの跡が確認された場合に、その対応する箇所）
 ○：維持保全計画に将来対応の記載が認められる劣化事象

住棟番号	1号棟				
部位等	【9】共用設備配管【給水・給湯管】★				
劣化状況	A 共用部分	確認欄※	対応	検査項目	確認内容
		☒ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ 現況検査できなかった箇所 () 理由 ()	○	(1) 【設備配管】給水管、給湯管の発錆による赤水	☒ ア 発錆による赤水が確認されない ☐ イ 発錆による赤水が確認される（下表に記入） a. 発錆による赤水が確認された場所 ()
			○	(2) 【設備配管】給水管、給湯管からの漏水	☐ ア 漏水が確認されない ☒ イ 漏水が確認される（下表に記入） a. 漏水が確認された場所 (東端住戸の4階、5階PS内においてバルブ周囲から漏水有)
		☐ イに該当する劣化事象ではないが、軽微なものは確認された。 劣化の内容			
		【9】共用設備配管【排水管】★			
		確認欄※	対応	検査項目	確認内容
		☐ ① ☐ ② ☒ ③ ☐ ④ 現況検査できなかった箇所 (2、4、5系列の共用排水) 理由 (排水管が住戸内設置で立入りが限定されたため)	○	(1) 【設備配管】排水の滞留	☒ ア 排水の滞留が確認されない ☐ イ 排水の滞留が確認される（下表に記入） a. 排水の滞留が確認された場所 ()
			○	(2) 【設備配管】排水管の漏水	☒ ア 排水管の漏水が確認されない ☐ イ 排水管の漏水が確認される（下表に記入） a. 漏水が確認された場所 ()
		☐ イに該当する劣化事象ではないが、軽微なものは確認された。 劣化の内容			
		備考			

(対応欄の凡例)

●：今回のリフォーム工により補修すべき劣化事象

■：同上（雨漏りの跡が確認された場合に、その対応箇所）

○：維持保全計画に将来対応の記載が認められる劣化事象

専用部分の確認欄は、調査対象住戸を100%として記入

住棟番号	【10】バルコニー（構造）☆			
劣化状況	確認欄※	対応	検査項目	確認内容
	☒ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ 現況検査できなかった箇所 () 理由 ()	○	(1) 【構造】支持部材、床の著しいぐらつき、ひび割れ又は劣化（さび汁、エフロレッセンス又は鉄筋の露出を含む。）	☒ ア 支持部材、床の著しいぐらつき、ひび割れ又は劣化等が確認されない ☐ イ 支持部材、床の著しいぐらつき、ひび割れ又は劣化等が確認される a. 支持部材、床の著しいぐらつき、ひび割れ又は劣化が確認された場所 ()
	☐ イに該当する劣化事象ではないが、軽微なものは確認された。 劣化の内容			
	【10】バルコニー（雨水）☆			
	確認欄※	対応	検査項目	確認内容
	☒ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ 現況検査できなかった箇所 () 理由 ()	○	(1) 【雨水】防水層の著しい劣化又は水切り金物等の不具合 choki0409	☒ ア 防水層の著しい劣化又は水切り金物等の不具合が確認されない ☐ イ 防水層の著しい劣化又は水切り金物等の不具合が確認される（下表に記入） a. 防水層の著しい劣化又は水切り金物等の不具合が確認された場所 ()
		■	(2) 【雨水】シーリング材や防水層の破断、欠損	☒ ア シーリング材や防水層の破断、欠損が確認されない ☐ イ シーリング材や防水層の破断、欠損が確認される(下表に記入) a. シーリング材や防水層の破断、欠損が確認された場所 ()
		■	(3) 【雨水】屋外に面する建具や建具廻りの隙間や破損、建具廻りのシーリング材の破断、開閉不良	☒ ア 建具や建具廻りの隙間や破損、開閉不良が確認されない ☐ イ 建具や建具廻りの隙間や破損、開閉不良が確認される（下表に記入） a. 建具や建具廻りの隙間や破損、開閉不良が確認された場所 ()
		■	(4) 【雨水】建具廻りのシーリング材の破断	☒ ア 建具廻りのシーリング材の破断が確認されない ☐ イ 建具廻りのシーリング材の破断が確認される（下表に記入） a. 建具廻りのシーリング材の破断が確認された場所 ()
	☒ イに該当する劣化事象ではないが、軽微なものは確認された。 劣化の内容 シート防水の一部にシート面の軽微なふくれがあった。緊急の補修は必要ないが、機会を見て補修のこと。			
備考	バルコニーにある雨樋、ドレインについて、劣化事象が見られるときは、ここに記入してください。			

(対応欄の凡例) ●：今回のリフォーム工事により補修すべき劣化事象
 ■：同上（雨漏りの跡が確認された場合に、その対応する箇所）
 ○：維持保全計画に将来対応の記載が認められる劣化事象

住棟番号		1号棟	
部位等		【11】柱・梁（構造）☆	
劣化状況	B専用部分	確認欄※	☒ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④
		対応	●
		検査項目	(1) 【構造】著しいひび割れ、劣化又は欠損（さび汁、エフロレッセンス又は鉄筋の露出を含む。）
		確認内容	☒ ア ひび割れが確認されない ☐ イ ひび割れが確認される（下表に記入） a. ひび割れが確認された場所 () b. 最大のひび割れ幅 () mm ☒ ア 欠損が確認されない ☐ イ 欠損が確認される（下表に記入） a. 欠損が確認された場所 () b. 最大欠損の深さ () mm ☒ ア 著しい劣化が確認されない ☐ イ 著しい劣化が確認される（下表に記入） a. 著しい劣化が確認された場所 () b. 広範囲に及ぶひび割れの有無 ☐ ア ない ☐ イ ある c. 広範囲に及ぶ欠損の有無 ☐ ア ない ☐ イ ある ☒ ア さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認されない ☐ イ さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認される(下表に記入) a. さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認された場所 () ☒ ア 鉄筋の露出が確認されない ☐ イ 鉄筋の露出が確認される（下表に記入） a. 鉄筋の露出が確認された場所 ()
理由	●	(2) 【構造】柱の著しい傾斜 	☒ ア 柱の著しい傾斜が確認されない ☐ イ 柱の著しい傾斜が確認される（下表に記入） a. 最も傾きがある場所 () b. 当該部分の傾斜 (/ 1000)
☐ イに該当する劣化事象ではないが、軽微なものは確認された。		劣化の内容	
備考			

(対応欄の凡例)

●：今回のリフォーム工事ににより補修すべき劣化事象

■：同上（雨漏りの跡が確認された場合に、その対応する箇所）

○：維持保全計画に将来対応の記載が認められる劣化事象

住棟番号	1号棟					
部位等	【12】内壁（構造）☆					
劣化状況	B専用部分	確認欄※	対応	検査項目	確認内容	
		☐ ① ☒ ② ☐ ③ ☐ ④ 現況検査できなかった箇所 （101号の一部） 理由 （入居者の都合により立入不可） ※仕上げの種類で「イ その他仕上げ等」を選択した場合は、仕上げの種類を記入の上で、躯体の状況が確認できなかった理由を記入する	—	仕上げの確認	☒ ア コンクリート打放し又は塗装仕上げ（Ⅰに記入） ☐ イ その他の仕上げの場合（Ⅱに記入）	
			Ⅰ. コンクリート打放し又は塗装仕上げの場合			
			○	(1) 【構造】幅0.5mm以上のひび割れ	☒ ア ひび割れが確認されない ☐ イ ひび割れが確認される（下表に記入） a. ひび割れが確認された場所 () b. 最大のひび割れ幅 () mm	
			○	(2) 【構造】深さ20mm以上の欠損	☒ ア 欠損が確認されない ☐ イ 欠損が確認される（下表に記入） a. 欠損が確認された場所 () b. 最大欠損の深さ () mm	
			●	(3) 【構造】コンクリートの著しい劣化	☒ ア 著しい劣化が確認されない ☐ イ 著しい劣化が確認される（下表に記入） a. 著しい劣化が確認された場所 () b. 広範囲に及ぶひび割れの有無 ☐ ア ない ☐ イ ある c. 広範囲に及ぶ欠損の有無 ☐ ア ない ☐ イ ある	
			●	(4) 【構造】さび汁を伴うひび割れ又は欠損	☒ ア さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認されない ☐ イ さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認される（下表に記入） a. さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認された場所 ()	
			●	(5) 【構造】鉄筋の露出	☒ ア 鉄筋の露出が確認されない ☐ イ 鉄筋の露出が確認される（下表に記入） a. 鉄筋の露出が確認された場所 ()	
			Ⅱ. その他の仕上げの場合			
			○	(1) 【構造】仕上げ材の著しい割れ	☐ ア 著しい割れが確認されない ☐ イ 著しい割れが確認される（下表に記入） a. 著しい割れが確認された場所 ()	
			○	(2) 【構造】著しい欠損	☐ ア 著しい欠損が確認されない ☐ イ 著しい欠損が確認される（下表に記入） a. 著しい欠損が確認された場所 () b. 最大欠損の深さ () mm	
			○	(3) 【構造】仕上げ材の著しい剥がれ	☐ ア 著しい剥がれが確認されない ☐ イ 著しい剥がれが確認される（下表に記入） a. 著しい剥がれが確認された場所 ()	
			○	(4) 【構造】著しいひび割れ	☐ ア 著しいひび割れが確認されない ☐ イ 著しいひび割れが確認される（下表に記入） a. 著しいひび割れが確認された場所 ()	
			☐ イに該当する劣化事象ではないが、軽微なものは確認された。 劣化の内容			
			備考			

(対応欄の凡例) ●: 今回のリフォーム工事により補修すべき劣化事象
■: 同上 (雨漏りの跡が確認された場合に、その対応する箇所)
○: 維持保全計画に将来対応の記載が認められる劣化事象

住棟番号	1号棟				
部位等	【12】内壁(雨水)☆				
劣化状況	B専用部分	確認欄※	対応	検査項目	確認内容
		☐ ① ☒ ② ☐ ③ ☐ ④ 現況検査できなかった箇所 (101号の一部) 理由 (入居者の都合により立入不可)	●	(1) 【雨水】内壁の雨漏りの跡	☐ ア 内壁の雨漏りの跡が確認されない ☒ イ 内壁の雨漏りの跡が確認される(下表に記入) a. 内壁の雨漏りの跡が確認された場所 (5階住戸(東端506号)天井付近 1階住戸(西端101号)和室窓周囲) 複数個所で確認された劣化事象は併記する (スペースが足りなければ備考欄、左欄を用いる)
		☐ イに該当する劣化事象ではないが、軽微なものは確認された。 劣化の内容			
備考					

(対応欄の凡例)

- : 今回のリフォーム工事ににより補修すべき劣化事象
 ■ : 同上 (雨漏りの跡が確認された場合に、その対応する箇所)
 ○ : 維持保全計画に将来対応の記載が認められる劣化事象

住棟番号	1号棟																																																					
部位等	【13】天井（構造）☆																																																					
劣化状況	B専用部分	<table border="1"> <thead> <tr> <th>確認欄※</th> <th>対応</th> <th>検査項目</th> <th>確認内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> ☐ ① ☒ ② ☐ ③ ☐ ④ </td> <td>—</td> <td>仕上げの確認</td> <td> ☒ ア コンクリート打放し又は塗装仕上げ（Ⅰに記入） ☐ イ その他の仕上げの場合（Ⅱに記入） </td> </tr> <tr> <td rowspan="10"> 現況検査できなかった箇所 （101号の一部） 理由 （入居者の都合により立入不可） </td> <td rowspan="3">●</td> <td>Ⅰ. コンクリート打放し又は塗装仕上げの場合</td> <td> ☒ ア 著しい劣化が確認されない ☐ イ 著しい劣化が確認される（下表に記入） </td> </tr> <tr> <td>(1) 【構造】コンクリートの著しい劣化</td> <td> a. 著しい劣化が確認された場所 （ ） b. 広範囲に及ぶひび割れの有無 ☐ ア ない ☐ イ ある c. 広範囲に及ぶ欠損の有無 ☐ ア ない ☐ イ ある </td> </tr> <tr> <td>(2) 【構造】さび汁を伴うひび割れ又は欠損（エフロレッセンスを含む）</td> <td> ☒ ア さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認されない ☐ イ さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認される（下表に記入） </td> </tr> <tr> <td rowspan="3">●</td> <td>(3) 【構造】鉄筋の露出</td> <td> ☒ ア 鉄筋の露出が確認されない ☐ イ 鉄筋の露出が確認される（下表に記入） </td> </tr> <tr> <td>a. 鉄筋の露出が確認された場所 （ ）</td> </tr> <tr> <td>Ⅱ. その他の仕上げの場合</td> <td> ☐ ア 著しい割れが確認されない ☐ イ 著しい割れが確認される（下表に記入） </td> </tr> <tr> <td rowspan="4">○</td> <td>(1) 【構造】仕上げ材の著しい割れ</td> <td> a. 著しい割れが確認された場所 （ ） </td> </tr> <tr> <td>(2) 【構造】著しい欠損</td> <td> ☐ ア 著しい欠損が確認されない ☐ イ 著しい欠損が確認される（下表に記入） </td> </tr> <tr> <td>a. 著しい欠損が確認された場所 （ ） b. 最大欠損の深さ （ ） mm</td> </tr> <tr> <td>(3) 【構造】仕上げ材の著しい剥がれ</td> <td> ☐ ア 著しい剥がれが確認されない ☐ イ 著しい剥がれが確認される（下表に記入） </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○</td> <td>a. 著しい剥がれが確認された場所 （ ）</td> </tr> <tr> <td>(4) 【構造】著しいひび割れ</td> <td> ☐ ア 著しいひび割れが確認されない ☐ イ 著しいひび割れが確認される（下表に記入） </td> </tr> <tr> <td>a. 著しいひび割れが確認された場所 （ ）</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> ☐ イに該当する劣化事象ではないが、軽微なものは確認された。 劣化の内容 </td> </tr> </tbody> </table>	確認欄※	対応	検査項目	確認内容	☐ ① ☒ ② ☐ ③ ☐ ④	—	仕上げの確認	☒ ア コンクリート打放し又は塗装仕上げ（Ⅰに記入） ☐ イ その他の仕上げの場合（Ⅱに記入）	現況検査できなかった箇所 （101号の一部） 理由 （入居者の都合により立入不可）	●	Ⅰ. コンクリート打放し又は塗装仕上げの場合	☒ ア 著しい劣化が確認されない ☐ イ 著しい劣化が確認される（下表に記入）	(1) 【構造】コンクリートの著しい劣化	a. 著しい劣化が確認された場所 （ ） b. 広範囲に及ぶひび割れの有無 ☐ ア ない ☐ イ ある c. 広範囲に及ぶ欠損の有無 ☐ ア ない ☐ イ ある	(2) 【構造】さび汁を伴うひび割れ又は欠損（エフロレッセンスを含む）	☒ ア さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認されない ☐ イ さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認される（下表に記入）	●	(3) 【構造】鉄筋の露出	☒ ア 鉄筋の露出が確認されない ☐ イ 鉄筋の露出が確認される（下表に記入）	a. 鉄筋の露出が確認された場所 （ ）	Ⅱ. その他の仕上げの場合	☐ ア 著しい割れが確認されない ☐ イ 著しい割れが確認される（下表に記入）	○	(1) 【構造】仕上げ材の著しい割れ	a. 著しい割れが確認された場所 （ ）	(2) 【構造】著しい欠損	☐ ア 著しい欠損が確認されない ☐ イ 著しい欠損が確認される（下表に記入）	a. 著しい欠損が確認された場所 （ ） b. 最大欠損の深さ （ ） mm	(3) 【構造】仕上げ材の著しい剥がれ	☐ ア 著しい剥がれが確認されない ☐ イ 著しい剥がれが確認される（下表に記入）	○	a. 著しい剥がれが確認された場所 （ ）	(4) 【構造】著しいひび割れ	☐ ア 著しいひび割れが確認されない ☐ イ 著しいひび割れが確認される（下表に記入）	a. 著しいひび割れが確認された場所 （ ）	☐ イに該当する劣化事象ではないが、軽微なものは確認された。 劣化の内容				<table border="1"> <thead> <tr> <th>確認欄※</th> <th>対応</th> <th>検査項目</th> <th>確認内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> ☐ ① ☒ ② ☐ ③ ☐ ④ </td> <td rowspan="3">●</td> <td>(1) 【雨水】天井の雨漏りの跡</td> <td> ☐ ア 天井の雨漏りの跡が確認されない ☒ イ 天井の雨漏りの跡が確認される（下表に記入） </td> </tr> <tr> <td rowspan="2"> 現況検査できなかった箇所 （501号の天井） 理由 （入居者の都合により立入不可） </td> <td>a. 天井の雨漏りの跡が確認された場所 （5階東端住戸（506号室）居間天井に雨漏り跡） （ ） </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> ☐ イに該当する劣化事象ではないが、軽微なものは確認された。 劣化の内容 </td> </tr> </tbody> </table>	確認欄※	対応	検査項目	確認内容	☐ ① ☒ ② ☐ ③ ☐ ④	●	(1) 【雨水】天井の雨漏りの跡	☐ ア 天井の雨漏りの跡が確認されない ☒ イ 天井の雨漏りの跡が確認される（下表に記入）	現況検査できなかった箇所 （501号の天井） 理由 （入居者の都合により立入不可）	a. 天井の雨漏りの跡が確認された場所 （5階東端住戸（506号室）居間天井に雨漏り跡） （ ）	☐ イに該当する劣化事象ではないが、軽微なものは確認された。 劣化の内容	
		確認欄※	対応	検査項目	確認内容																																																	
		☐ ① ☒ ② ☐ ③ ☐ ④	—	仕上げの確認	☒ ア コンクリート打放し又は塗装仕上げ（Ⅰに記入） ☐ イ その他の仕上げの場合（Ⅱに記入）																																																	
		現況検査できなかった箇所 （101号の一部） 理由 （入居者の都合により立入不可）	●	Ⅰ. コンクリート打放し又は塗装仕上げの場合	☒ ア 著しい劣化が確認されない ☐ イ 著しい劣化が確認される（下表に記入）																																																	
				(1) 【構造】コンクリートの著しい劣化	a. 著しい劣化が確認された場所 （ ） b. 広範囲に及ぶひび割れの有無 ☐ ア ない ☐ イ ある c. 広範囲に及ぶ欠損の有無 ☐ ア ない ☐ イ ある																																																	
				(2) 【構造】さび汁を伴うひび割れ又は欠損（エフロレッセンスを含む）	☒ ア さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認されない ☐ イ さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認される（下表に記入）																																																	
			●	(3) 【構造】鉄筋の露出	☒ ア 鉄筋の露出が確認されない ☐ イ 鉄筋の露出が確認される（下表に記入）																																																	
				a. 鉄筋の露出が確認された場所 （ ）																																																		
				Ⅱ. その他の仕上げの場合	☐ ア 著しい割れが確認されない ☐ イ 著しい割れが確認される（下表に記入）																																																	
			○	(1) 【構造】仕上げ材の著しい割れ	a. 著しい割れが確認された場所 （ ）																																																	
				(2) 【構造】著しい欠損	☐ ア 著しい欠損が確認されない ☐ イ 著しい欠損が確認される（下表に記入）																																																	
				a. 著しい欠損が確認された場所 （ ） b. 最大欠損の深さ （ ） mm																																																		
				(3) 【構造】仕上げ材の著しい剥がれ	☐ ア 著しい剥がれが確認されない ☐ イ 著しい剥がれが確認される（下表に記入）																																																	
		○	a. 著しい剥がれが確認された場所 （ ）																																																			
			(4) 【構造】著しいひび割れ	☐ ア 著しいひび割れが確認されない ☐ イ 著しいひび割れが確認される（下表に記入）																																																		
a. 著しいひび割れが確認された場所 （ ）																																																						
☐ イに該当する劣化事象ではないが、軽微なものは確認された。 劣化の内容																																																						
確認欄※	対応	検査項目	確認内容																																																			
☐ ① ☒ ② ☐ ③ ☐ ④	●	(1) 【雨水】天井の雨漏りの跡	☐ ア 天井の雨漏りの跡が確認されない ☒ イ 天井の雨漏りの跡が確認される（下表に記入）																																																			
現況検査できなかった箇所 （501号の天井） 理由 （入居者の都合により立入不可）		a. 天井の雨漏りの跡が確認された場所 （5階東端住戸（506号室）居間天井に雨漏り跡） （ ）																																																				
		☐ イに該当する劣化事象ではないが、軽微なものは確認された。 劣化の内容																																																				
備考																																																						

(対応欄の凡例) ●：今回のリフォーム工事により補修すべき劣化事象
■：同上（雨漏りの跡が確認された場合に、その対応する箇所）
○：維持保全計画に将来対応の記載が認められる劣化事象

住棟番号		1号棟	
部位等		【14】床（構造）☆	
劣化状況	B専用部分	確認欄※	対応
		① ② ③ ④	
		現況検査できなかった箇所 (101号の一部)	
		理由 (入居者の都合により立入不可)	
		検査項目	確認内容
		(1) 【構造】 著しいひび割れ、劣化又は欠損（さび汁、エフロレッセンス又は鉄筋の露出を含む。）	ア ひび割れが確認されない イ ひび割れが確認される（下表に記入） a. ひび割れが確認された場所 () b. 最大のひび割れ幅 () mm ア 欠損が確認されない イ 欠損が確認される（下表に記入） a. 欠損が確認された場所 () b. 最大欠損の深さ () mm ア 著しい劣化が確認されない イ 著しい劣化が確認される（下表に記入） a. 著しい劣化が確認された場所 () b. 広範囲に及ぶひび割れの有無 ア ない イ ある c. 広範囲に及ぶ欠損の有無 ア ない イ ある ア さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認されない イ さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認される（下表に記入） a. さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認された場所 () ア 鉄筋の露出が確認されない イ 鉄筋の露出が確認される（下表に記入） a. 鉄筋の露出が確認された場所 ()
		(2) 【構造】 6/1,000以上の傾斜（床の表面における2点（3m以上離れているものに限る。）の間を結ぶ直線の水平面に対する角度をいう。）	ア 著しい傾斜が確認されない イ 著しい傾斜が確認される（下表に記入） a. 最も傾きがある場所 () b. 当該部分の傾斜 (/ 1000)
		イに該当する劣化事象ではないが、軽微なものは確認された。	
		劣化の内容	
備考			

(対応欄の凡例)

- ：今回のリフォーム工事により補修すべき劣化事象
 ■：同上（雨漏りの跡が確認された場合に、その対応する箇所）
 ○：維持保全計画に将来対応の記載が認められる劣化事象

住棟番号	1号棟				
部位等	【15】専用設備配管【給水・給湯管】☆				
劣化状況	B 専用部分	確認欄※ ☒ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ 現況検査できなかった箇所 () 理由 ()	対応 ○	検査項目 (1) 【設備配管】給水管、給湯管の発錆による赤水 (2) 【設備配管】給水管、給湯管からの漏水	確認内容 ☒ ア 発錆による赤水が確認されない ☐ イ 発錆による赤水が確認される（下表に記入） a. 発錆による赤水が確認された場所 () ☒ ア 漏水が確認されない ☐ イ 漏水が確認される（下表に記入） a. 漏水が確認された場所 ()
		☐ イに該当する劣化事象ではないが、軽微なものは確認された。 劣化の内容			
		【15】専用設備配管【排水管】☆			
		確認欄※ ☒ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ 現況検査できなかった箇所 () 理由 ()	対応 ○	検査項目 (1) 【設備配管】排水の滞留 (2) 【設備配管】排水管の漏水	確認内容 ☒ ア 排水の滞留が確認されない ☐ イ 排水の滞留が確認される（下表に記入） a. 排水の滞留が確認された場所 () ☒ ア 排水管の漏水が確認されない ☐ イ 排水管の漏水が確認される（下表に記入） a. 漏水が確認された場所 ()
		☐ イに該当する劣化事象ではないが、軽微なものは確認された。 劣化の内容			
		【15】専用設備配管【換気ダクト】☆			
		確認欄※ ☒ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ 現況検査できなかった箇所 () 理由 ()	対応 ○	検査項目 (1) 【設備配管】換気ダクトの脱落	確認内容 ☒ ア 換気ダクトの脱落が確認されない ☐ イ 換気ダクトの脱落が確認される（下表に記入） a. 換気ダクトの脱落が確認された場所 ()
		☐ イに該当する劣化事象ではないが、軽微なものは確認された。 劣化の内容			

住棟番号						
C オプション						
劣化状況	A 共用部分	検査の有無	対応	検査項目	確認内容（検査ありの場合、ご記入ください）	
		☐ 検査あり ※コンクリートの圧縮強度検査は圧縮強度欄に、鉄筋の本数、配置検査は、鉄筋探索欄に記入	○	(1) 非破壊検査機器を用いた検査 (検査内容) ()	☐ ア 異常が確認されない ☐ イ 異常が確認される（下表に記入） a. 異常が確認された場所 () b. 異常の状況 ()	
		☐ 検査あり	○	(1) 申込み住宅のキッチンコンロ、換気扇やパッケージエアコン等の設備機器の作動不良等の検査 (検査内容) ()	☐ ア 作動不良が確認されない ☐ イ 作動不良が確認される（下表に記入） a. 作動不良が確認された場所 () b. 作動不良の状況 ()	
		☐ 検査あり	○	(2) 申込み住宅の給排水設備、電気設備、ガス設備 (検査内容) ()	☐ ア 作動不良が確認されない ☐ イ 作動不良が確認される（下表に記入） a. 作動不良が確認された場所 () b. 作動不良の状況 ()	
	B 専用部分	☐ 検査あり	○	(3) 申込み住宅の汚損等、清掃により解消可能なものの検査 (検査内容) ()	☐ ア 汚損が確認されない ☐ イ 汚損が確認される（下表に記入） a. 汚損が確認された場所 () b. 汚損の状況 ()	
		☐ 検査あり ※コンクリートの圧縮強度検査は圧縮強度欄に、鉄筋の本数、配置検査は、鉄筋探索欄に記入	○	(4) 非破壊検査機器を用いた検査 (検査内容) ()	☐ ア 異常が確認されない ☐ イ 異常が確認される（下表に記入） a. 異常が確認された場所 () b. 異常の状況 ()	
		☐ 検査あり コンクリートの圧縮強度	○	(1) 【構造】コンクリートの圧縮強度 ()	☐ ア コンクリートの圧縮強度が確認できない ☐ イ コンクリートの圧縮強度が確認できる（下表に記入） a. コンクリートの圧縮強度を確認した場所 () ☐ ア 反発度 a. 測定値 ()	
		☐ 検査あり 非破壊検査機器による検査【鉄筋の本数及び間隔】	○	(1) 基礎における鉄筋の本数及び間隔 (検査位置) ()	☐ ア 立上り補強筋間隔が@300以内、又は設計図書以内 a. 補強筋間隔 (@ mm) ☐ イ 補強筋間隔が@300又は設計図書を超越（下表に記入） b. 補強筋間隔が適切ではない場所 () ☐ ア 底版補強筋間隔が@300以内、又は設計図書以内 a. 補強筋間隔 (@ mm) ☐ イ 補強筋間隔が@300又は設計図書を超越（下表に記入） b. 補強筋間隔が適切ではない場所 ()	
	鉄筋探索					
	備考		この備考欄には【1】～【15】に類さない、上のオプション検査項目に関する内容のみ記載してください。 なお、本欄に記載された劣化事象について、本事業のその他性能向上工事の対象として補助対象とすることはできません。補助対象とするには、【1】～【15】の各シートで関連する部位の備考欄に記載してください。			